

株式会社 FRONTEO と、Drug Discovery AI Factory を活用した 糖鎖修飾ソマトスタチン (GT-02037) の 適応症探索に向けた契約締結のお知らせ

株式会社糖鎖工学研究所（本社：京都府京都市 代表取締役社長：朝井 洋明）と株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、このたび、FRONTEO が提供する AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」を活用した新規標的分子候補および適応症探索を行う共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

FRONTEO は、国内の製薬企業やバイオベンチャーとの PoC（実証試験）を推進しており、本契約はその取り組みの一環として、糖鎖修飾を基盤とする創薬研究分野において実施されるものです。

■本契約の概要

FRONTEO は、自社開発 AI「KIBIT（キビット）」を活用し、既知の学術文献には記載されていない疾患と標的分子の潜在的関連性を抽出する独自の自然言語処理技術を有しています。AI 創薬支援サービス「DDAIF」は、創薬研究における新規標的分子候補探索や疾患メカニズム解析を支援するサービスとして、製薬企業や研究機関において活用されています。

本契約では、「糖鎖修飾ソマトスタチン (GT-02037)」の適応症拡大を中心とした、糖鎖技術の新たな価値を創出します。両社の技術と知見を組み合わせることで、糖鎖技術の創薬ポテンシャルを多角的に評価し、新しい医薬品の開発と、アンメット・メディカル・ニーズの解消を含めた医療の発展に貢献することを目指します。

■FRONTEO 取締役／CSO（Chief Science Officer） 豊柴 博義 氏のコメント

「FRONTEO は、独自の AI と解析技術により、世界でまだ論文に報告されていない疾患と標的分子の関係性や疾患メカニズムを文献情報から非連続的に見出すことを強みとしています。今回、当社の「DDAIF」と糖鎖工学研究所の革新的な糖鎖研究・製造技術を融合させることで、糖鎖の生体内環境に近い分子設計が可能であるという特徴を生かしつつ、受容体への結合性向上や複数の受容体に対して作用するマルチターゲット型バイオ医薬品開発など、新規治療への応用可能性を大きく広げられることを期待しています。本 PoC が、革新的医薬品の創出とアンメット・メディカル・ニーズの解消、日本の創薬産業の発展に貢献することを願っています。」

■糖鎖工学研究所 代表取締役社長 朝井 洋明のコメント

「糖鎖工学研究所では、糖鎖を利用した創薬技術の構築題材として、ソマトスタチンへ糖鎖を付加した開発候補品を創成しました。ソマトスタチンは、多くの臓器で働く重要なペプチドホルモンですが、生体安定性の問題によって天然物のままでは薬としての利用が難しい化合物です。それらの欠点を改善した GT-02037 は、既に臨床試験において先端巨大症患者への投与において良好な結果を得ています。GT-02037 は、5 種類の受容体に対応するため多様な疾患の治療薬としても期待されています。我々は、FRONTEO の「DDAIF」を利用することによりアンメット・メディカル・ニーズへの応用展開を期待しています。」

株式会社 FRONTEO の概要

- 設立：2003 年 8 月 8 日
- 代表取締役社長：守本 正宏
- 従業員数：271 名（2025 年 9 月 30 日時点 連結）
- 事業内容：自社開発の特化型 AI「KIBIT」の提供を通じた、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断支援
- 本社所在地：東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル（受付 8 階）
- ホームページ：<https://www.fronteo.com/>

本文中で使用されている会社名、団体名、商品名、サービス名およびロゴ等は、株式会社糖鎖工学研究所、株式会社 FRONTEO、各社および各団体の登録商標または商標です。

- 本ニュースリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社糖鎖工学研究所

〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 134 番地 KRP#1-2F

E-Mail：glytech-info@glytech.jp

以上